



# なのはな通信

24年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 16

平成24年11月27日

## 作文に見られる六ツ美中部の子のやさしさ

「第三回『働く人へありがとう』メッセージ」に応募した作文のあおくとおじいさんの会話から、家族の絆と「自然がもたらす人の心の優しさ」を感じ取ることができました。六年生が総合的な学習の時間に、学区の豊かさを考える授業を行いました。

豊かさとは何かを考えたとき、経済環境、自然環境、社会的環境、伝統や文化などの歴史的環境などがあることに気づけば、多面的な見方や総合的に考える力が身に付くであろうという構想のもとで行っています。

本校が目指す「六ツ美中部を愛する子・自分の思いを豊かに表現する子・よりよい生活をめざす実践的な子」に迫ることができるとは思いません。そのために地域の方を招き、さまざまなお話を伺いました。総代の萩原様からは

「安全・安心面でも住みやすい地域にした。勉強も大事だが、人と人とのつながり、友だちを大切にし、「絆」を強くして生活してほしい」というお話をいただきました。



6年2組の授業

### 「お母さんありがとう」 働く人にメッセージ、表彰



受賞者のみなさん—名古屋市中区の東海労働金庫で

名古屋市中区の東海労働金庫で二十三日、「第三回『はたらく人へありがとう』メッセージ」(中日新聞社など後援)の授賞式が開かれた。動いている人たちに普段言えないありがとうの気持ちを表す。このうち、中学生の



学校で実ったみかん

11月24日中日新聞

いつもありがとう

六年一組 大久保 蒼生

「おじいちゃん大きいのがあったよ!」  
「両腕いっぱい重たいスイカをぼくは収穫した。朝早くから、おじいちゃんは畑仕事をしているので、ぼくは手伝う事にした。」

朝六時に家を出発畑は近く、すぐに車から降りると「なす、トマト、ピーマン、スイカを今から切るから、あおくんは、スイカを切ってくれ」とおじいちゃんに言われ、ぼくは大きいものを選んで切り車に運んだ。スイカはずっしりとして、重たい。五、六個運ぶと腕もパンパンで、汗だくになり、つかれもピークになった。

「今年は、たくさんあるからなあー手伝ってくれて助かるよ」と言ってくれたのでうれしかった。  
家に帰り、収穫した野菜をふくろに入れる仕事をした。毎日、こんな大変な事を知って、これからは仕事を手伝って少しでもやくにたちたいです。

(東海ろう金 第三回「はたらく人へありがとう」メッセージ  
小学生の部 入賞 応募数 1447名 東海3県)



上6年生、下5年生作品